

東芝ライテック(株)今治事業所 サイトレポート情報	
所在地	愛媛県今治市旭町5-2-1
敷地面積	31,593m ² 、建家面積：15,647m ² 、緑化率25.2%
設立	1950年5月、従業員：378人(2013年3月現在)
主要製品	液晶バックライト用冷陰極放電灯、自動車用小形電球 など
ISO14001認証取得	1998年7月、最新更新年月：2010年8月 (ISO認証番号：EC09J0097)



ごあいさつ

東芝ライテック(株)今治事業所は、瀬戸内海のほぼ中心部に突出した高縄半島の先端に位置する今治市で事業を展開しています。液晶ディスプレイのバックライト(冷陰極放電灯)、自動車用小形電球、OA機器など「光」製品を世界に提供しています。事業活動における環境負荷低減活動、環境調和型製品の創出を推進し、社会に貢献しています。また、従業員による地域清掃活動、廃棄物のリサイクルなど、全社を挙げて環境保全活動に注力しています。

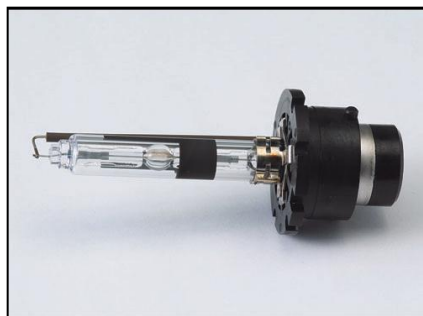


環境管理責任者 野口英彦

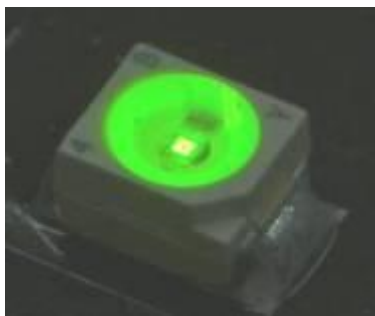
2012年度の環境の主な取組み

- ☆ ISO14001 環境マネジメントシステム
1998年7月に認証取得。
- ☆ 環境保全体制の充実
法令、条例の順守。
- ☆ CO2 排出量の削減
2011年度予測値年1%削減目標 (目標141.7t-CO2/億円 実績139.6t-CO2/億円)
- ☆ 水銀汚染廃棄物量の削減
2011年度実績の年2%削減目標 (目標9.67kg/百万円 実績3.41kg/百万円)
- ☆ 水銀使用量の削減
2011年度実績の年1%削減目標 (目標20.6g/百万円 実績20.2g/百万円)
- ☆ 全員参加・啓発活動の展開
環境月間・3R月間・省エネ月間による環境啓発活動。
- ☆ 地域との協調
郊外への美化活動。

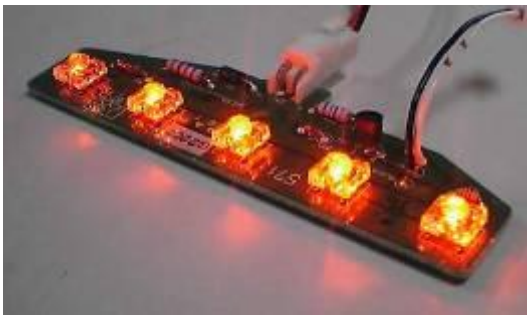
製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



水銀フリー自動車用HIDランプ



高輝度LEDパッケージ
O²PERA



車載用LED光源モジュール

今治事業所 環境方針

東芝ライテック株式会社・今治事業所は、瀬戸内海に浮かぶ芸予諸島と緑豊かな高縄山地を有する愛媛県今治市に位置しています。温暖な気候で、瀬戸内海に生息するカブトガニ、石鎚山に生息するクマタカをはじめ、多様な動植物が生息・生育しています。その豊かな自然環境の中で自動車・OA及び情報機器等の産業用光源及びその応用分野製品の開発・製造をしていることを踏まえ、事業活動全体が環境に与える影響を的確に捉え、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を目指し、あらゆる面で地球環境保全に配慮して行動します。

1. 事業活動全体にかかわる生物多様性を含む環境影響を常に認識し、環境汚染の予防に努めます。
2. 環境活動において、技術的・経済的に可能な範囲で継続的改善を図ります。
3. 事業活動全体にかかわる環境関連法規、規則及び当社が同意したその他の要求事項などを順守し、必要により自主基準を制定し、環境活動に取り組みます。
4. 事業活動全体にかかわる環境影響のうち重点項目として以下の項目に取り組みます。
 - ① 省エネルギーの推進及びCO₂排出量の削減
 - ② 化学物質の大気への排出量の削減
 - ③ 環境負荷低減に寄与する環境調和型製品の開発
5. この環境方針を達成する為に部門毎の環境目的・目標を設定し必要により見直しを行い環境活動に努めます。
6. 定期的に内部環境監査を実施し、環境マネジメントシステムを維持すると共に、継続・向上を図ります。
7. 教育及び社内広報活動を実施し、従業員及び常駐して業務を行う者に環境方針の理解と環境活動の高揚を図ります。
8. この環境方針は、一般公開し、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域環境に注意深く考慮します。

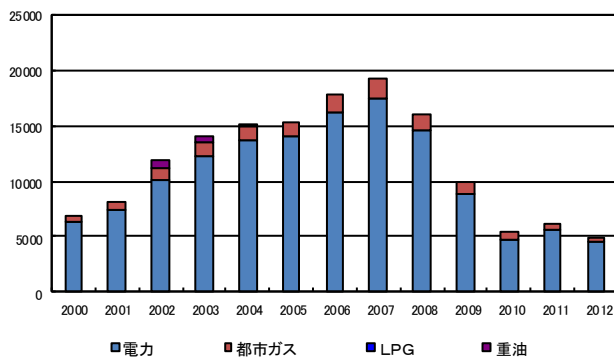
2013年4月1日

東芝ライテック株式会社
今治事業所 環境管理責任者

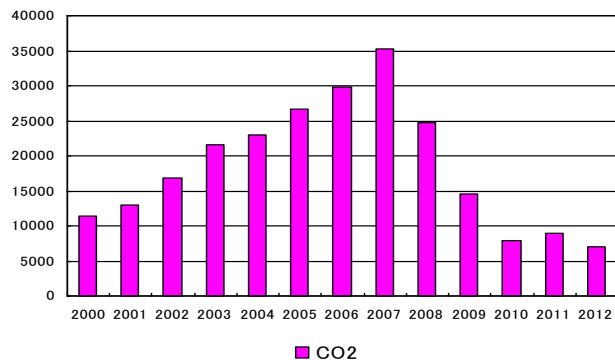
野口英彦

環境負荷データ

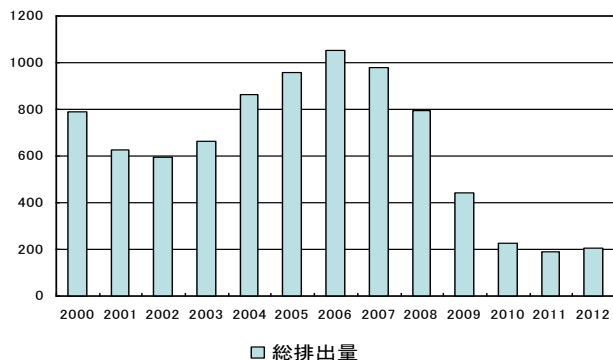
エネルギー使用量(単位:KL)



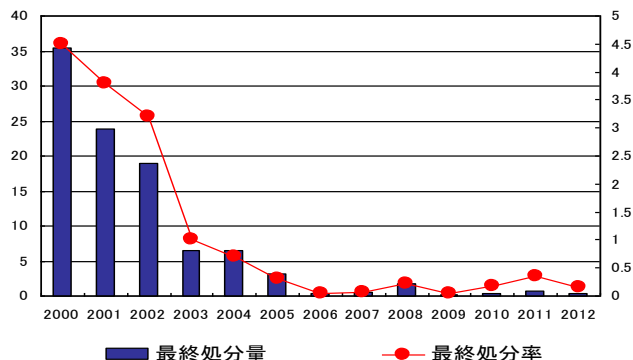
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

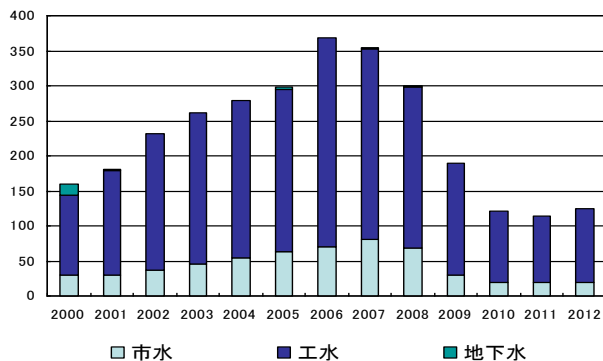


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

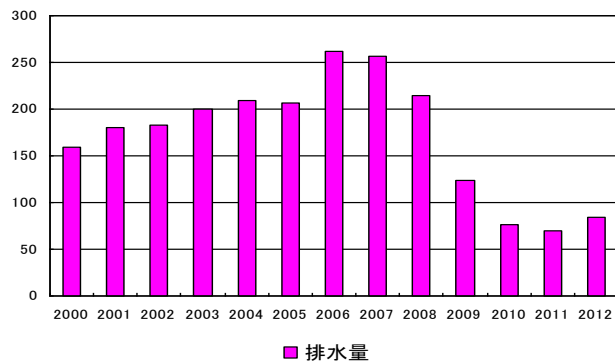


主な廃物名: 酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

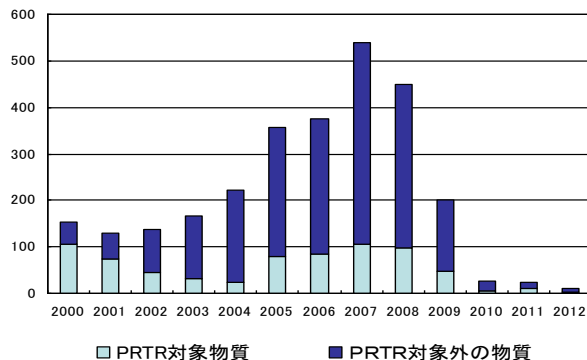
水の使用量(単位:千m³)



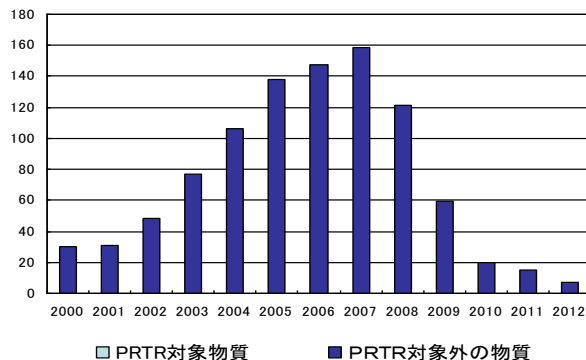
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 酢酸ブチル

遵法管理状況

<大気測定結果> 吸収式冷温水機(都市ガス使用) 7台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	110	69	年2回
SOx(Nm3/h)	6.8	0.47	<0.001	年2回
ばいじん(mg/Nm3)	100	20	<0.01	年2回

<排水測定結果> 洗浄施設 下水に放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0(下水道法)	5.5~8.5	6.9	毎日
BOD(mg/ℓ)	600(下水道法)	30	2.9	隔週1回
COD(mg/ℓ)	--	--	--	--
SS(mg/ℓ)	600(下水道法)	30	4.0	年2回
窒素(mg/ℓ)	240(下水道法)	60	1.7	年2回
フッ素(mg/ℓ)	8(下水道法)	6	3.1	年2回

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:送風機34台、空気圧縮機25台、振動:空気圧縮機25台

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	--	54	年4回
	敷地境界:夜	50	--	47	年4回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	--	38	年1回
	敷地境界:夜	60	--	33	年1回

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	X.X~X.X	X.X	月1回
BOD(mg/ℓ)	600	XXX	XX	月1回
SS(mg/ℓ)	600	XXX	XX	月1回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

環境コミュニケーションの紹介

<環境一斉アクション>

6月5日の環境の日に合わせ東芝グループグローバルで一斉に実施した「環境一斉アクション」に参加し、事業所の看板を消灯実施しました。
また従業員に家庭での消灯呼びかけを実施しました。

(実施概要)

- ・日時: 2013年6月5日 19:30-20:30
- ・事業所の広告看板消灯(4.75kwhのCO₂削減)



<LED工作教室の実施>

地域とのコミュニケーションの一環として日本電球工業会に講師を委託し、地元小学生を対象にLED工作教室を実施しました。

(実施概要)

- ・日時: 2012年12月20日
- ・参加対象: 日吉小学校4, 5年生27名



<CO2削減エコ活コーディネート事業「自社植樹」の実施>

当事業所の環境配慮が評価され、愛媛県社団法人会よりクスノキ、クチナシ、アラカシ、サツキ、スダジイの苗木を寄贈され、構内に植樹しました。

(実施概要)

- ・日時: 2013年1月28日
- ・参加人数: 27名



<生物多様性ワークショップの実施>

当事業所従業員への生物多様性意識向上のために、NPO法人いよココロザシ大学へ講師を委託して、生物多様性ワークショップを実施しました。今後も継続して定期的にも実施する予定です。

(実施概要)

- ・日時: 2013年3月18日
- ・参加人数: 23名

